

とくしま棚田ネットワーク 会報 Vol. 2



HPはこちらから

「つなぐ棚田遺産」感謝状の贈呈について 「かみかつ棚田未来づくり協議会」



棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する企業・大学等の皆様に、農林水産省から感謝状が贈呈されました。

「つなぐ棚田遺産」感謝状とは、棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業等に感謝状を贈呈するもので、「未来へつなぐ」部門、「人と人をつなぐ」部門、「クリエイティブ」部門の3つの部門に分けて、39企業等を選定しました。

徳島県では、「クリエイティブ」部門として「かみかつ棚田未来づくり協議会」に感謝状が贈られました。

「かみかつ棚田未来づくり協議会」の取組内容

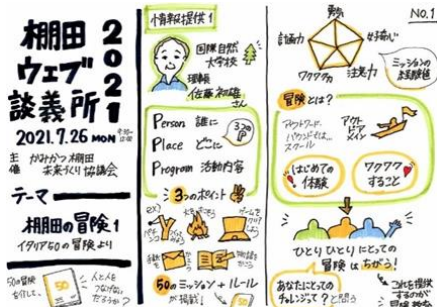
コロナ禍対策としての木製足踏み式消毒スタンドづくりに取り組んだほか、棚田米を使ったヴィーガンアイスを発売。また、棚田アクティビティをまとめた「棚田50の冒険冊子」づくりを進め、地元大学と連携した上勝地域協働研究プロジェクトを実施しました。



上勝棚田アイス（ヴィーガン）



かみかつ棚田ウェブ談義所



「棚田50の冒険」のビジョン検討



棚田キックボード体験プログラム



詳細はこちらから
かみかつ棚田未来づくり
協議会HP

※「かみかつ棚田未来づくり協議会」は、本感謝状のほかにも、農山漁村活性化の優良事例を選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第9回（令和4年11月）に選定されています。

令和4年度農山漁村（ふるさと）活性化モデル事業 （棚田保全活用タイプ）5団体の取組紹介

徳島県では、棚田の保全・活用を目的とした取組を支援するため、「あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業（農山漁村（ふるさと）活性化モデル事業「棚田保全活用タイプ」）」を実施しています。

令和4年度の委託先である5団体の取組について紹介します。

なお、令和5年度に棚田の保全・活用を行う団体を募集します。

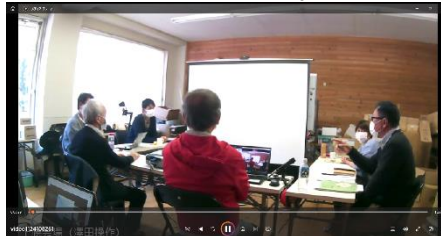
詳細は、近日中に「とくしまの農山漁村HP」に掲載します。

かみかつ棚田未来づくり協議会（棚田地域で電動キックボード体験を）

近年、国内外で注目を集めている電動キックボードを棚田地域で安全に利用するための指導者人材育成として、国内の自然体験活動指導者の資格「NEALリーダー（初級）」研修、自然体験活動の安全管理資格「CONEリスクマネジメント基礎講習会」を開催しました。電動キックボード体験の活動エリアとなる「田野々の棚田」で、棚田景観保全を目的とした展望所周辺の草刈り活動を行いました。



NEALリーダー研修の様子



CONEリスクマネジメント
基礎講習会の様子



田野々の棚田

美郷四季花の会

美郷の宝である「高開の石積み」を中心に、保全を重視し活動を行いました。鹿の食害で芝桜がや花木への被害が大きく、住民のモチベーションも下がってきている中、企業や学生さんに協力してもらい「芝桜の草取りや植付け、倒木の撤去」「石積みの修復」を行い、地域へ人を呼べる場所づくりに努めました。また、地域の生活や伝統を紹介する動画を作成し、YouTubeで発信しています。



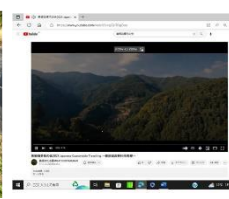
石積修復作業



石積草取り作業



花木の植付け作業



YouTube動画発信



こちらから

かみかつ茅葺き学校

棚田の耕作を支援する「田んぼ応援隊」5チームが、集落住民から農業技術を習得しながら、7枚の棚田で日常的田づくりを行いました。田んぼ応援隊同士や集落住民との交流の場として、各チームのお米を食べ比べる収穫祭と棚田ライトアップを開催。作業の振り返りや、集落の暮らし等について談笑しながら、それぞれの集落の景観や暮らしを守りたい思いを分かち合いました。



代かき作業



草取り作業



収穫祭



棚田ライトアップ

特定非営利活動法人 郷の元気

(檜原の棚田と都市部をつなぐオンライン&リアル交流活動)

高齢化率80%を超えた「檜原の棚田」で、都市部に住む県内外の子どもたちとオンライン&リアル交流を実施。田植えや収穫、しめ縄づくりなどを棚田農家の指導を受けながら体験しました。遊休農地の拡大状況把握のため、「檜原の棚田」の土地利用調査を行い、GISで整理しました。郵パックを活用した全国どこでも1,000円均一の「棚田発送商品」を開発しました。



オンラインしめ縄づくりの現地会場



1,000円均一の「棚田発送商品」(檜原の棚田米3合)



檜原の棚田GIS調査結果※

※ 国土地理院撮影の空中写真(2019年撮影)を加工して作成

上勝自然体験学習研究会

棚田学習でつなぐ学校と地域の連携プログラムとして、小学校、中学校、教育委員会との連携ミーティング、オンライン・ワークショップを実施。オンラインによる地域学習の場としてメタバースの「モジラ・ハブ」を使用した学習フィールドを作成しました。



檜原の棚田の草刈り



学校と地域連携ミーティングの様子

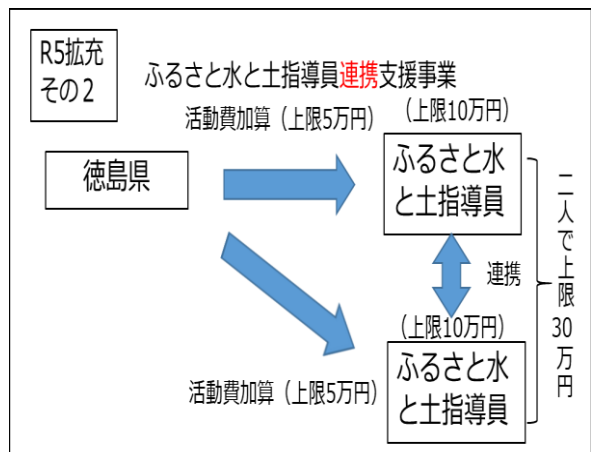
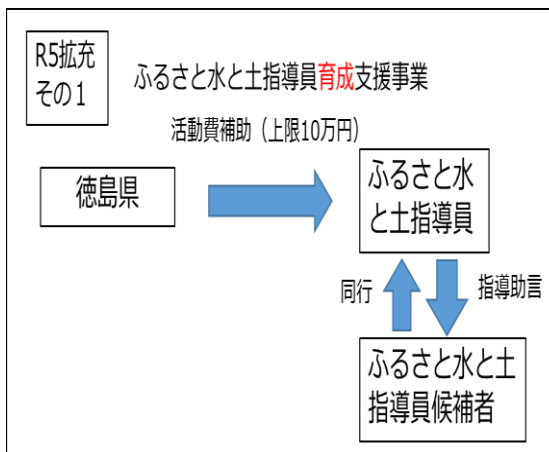


メタバース「モジラ・ハブ」

ふるさと水と土指導員活動支援事業

(令和5年度から支援内容を拡充します)

ふる水指導員が行う活動に加え、指導員候補者を指導助言して共に行う活動も支援の対象に追加します。また、指導員同士が連携して行う活動にも拡充支援します。



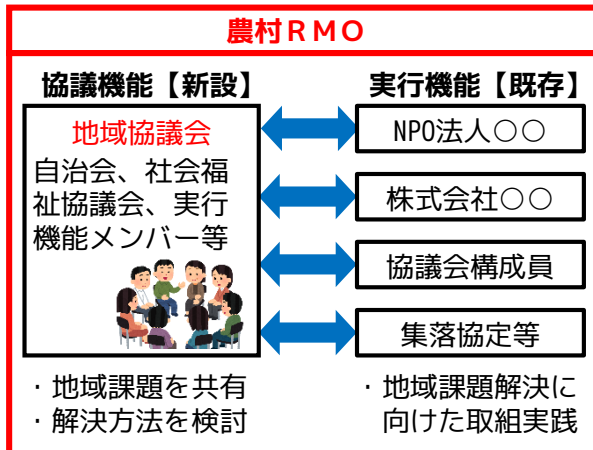
農村RMO（農村型地域運営組織）の取組にチャレンジしてみませんか？



1. 農村RMOとは？

中山間地域の小学校区～旧市町村程度のエリアにおいて、「農用地の保全」、「地域資源の活用」、「生活支援」に関する様々な地域課題をとりまとめ、解決に向けた取組を一体的に調整、実行する組織です。（右図参照）

2. 農村RMOでどんなことができるの？

- 下表に示す取組が全国の農村RMOで行われております。
- 令和5年度から、農村RMOの設立に意欲のある団体（地域協議会）が実施する合意形成、計画策定及び実証活動の取組に対し、支援を行います。



| 農用地の保全 | 地域資源の活用 | 生活支援 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間直支払交付金や多面的機能支払交付金の組織への事務及び人的支援 ・ 耕作放棄地の復旧－活用 ・ 鳥獣被害対策 など <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>リモコン草刈機による農用地の維持管理</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の集出荷管理 ・ 農泊の推進 ・ 六次産業化の取組推進 ・ 空き店舗の有効活用 など <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>六次化の取組</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援（買い物、通院、通学等） ・ 農産物の集出荷支援 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 見守りサービス など <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>移動支援</p> </div> |

3. 支援制度の内容について

- 地域の熟度に応じ、下表の(1)・(2)を御選択いただけます。実施してみたい！という場合は、農山漁村振興課まで御相談ください。

| 事業メニュー※1 | 期間 | 補助率 | 補助金額※2 | 対象経費 |
|----------------------------------|-----------|------|-----------------|--------------------------|
| (1) 地域の合意形成に向けたワークショップの実施（講師の派遣） | 最大 1年間 | — | （県負担） | — |
| (2) 農村RMOの設立に向けた合意形成、計画策定及び実証活動 | 最大 3年間 | 100% | 最大 1,000万円/年 | 旅費、報償費、給与、保険料、事務費、実証費用など |

※1 (1)と(2)を同時に実施することはできません。（(1)を実施後、翌年度に(2)を行うことは可能です。）
 ※2 予算の関係から、取組内容や申請数により上限金額が変わります。



ふるさと応援すだちくん

とくしま棚田ネットワーク事務局
 徳島県農林水産部農山漁村振興課振興・創生担当
 徳島市万代町1丁目1番地
 電話番号(088)621 2486 FAX番号(088)621 2859
 E-mail nousangyosonshinkouka@pref.tokushima.jp

とくしまの棚田や農山漁村に関する情報はこちら

とくしまの農山漁村 検索

<https://www.tokushima-nousangyoson.net/>

